

## ①大和学園聖セシリア

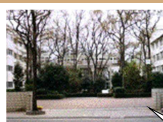


### 【受賞理由】

南林間の静かな住宅地の中に、幼稚園から短大までの一連の学校施設が整備され、長い時間をかけて緑豊かな教育環境を育ててきた。松の高木と植え込みに囲まれた施設は、当初の林間都市開発の姿を思い起こさせ、そのイメージを地域に伝えている。

落葉や枝の処理、公道の清掃等、日頃から景観維持に努められている。

## ③神奈川県立大和西高等学校



### 【受賞理由】

正面玄関前の緑の残し方をはじめ、敷地全体にわたって緑を積極的に取り入れ、学校、PTA、生徒たちの協力のもとで管理が徹底して行われている。教育施設としては申し分ないほどの環境は、周囲にも緑の景観を提供している。建物を主張せず、校庭の周囲にも高木の間に小路を造り古き良き大和の樹木を再生し、活らしたくなるような魅力的な緑空間も創出しており、周辺的林間都市のイメージに対応する景観となっている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

## ②「ガラスと松のファード」 聖セシリア女子短期大学1号館



### 【受賞理由】

ガラスを多用した透明感のあるスマートな現代建築には清潔感が漂い、一方門前に生えていた既存の松の木を残し、現代建築と古風な松との不思議なマッチングは、生垣とともに新しい景観の魅力を創り出している。

受賞当時から、美観や清潔感を大切に景観の維持に努められており、現在も変わらず輝きを放っている。

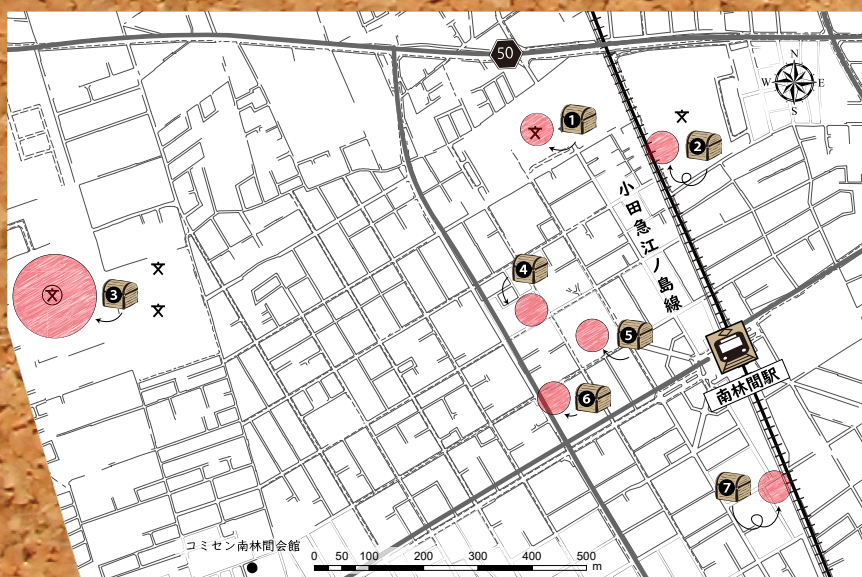
## ④「古き南林間の面影を残したお宅」大木邸



### 【受賞理由】

広い邸宅にはあるが、周囲に開放的であり、道行く人は手入れのよく行き届いた様々な種類の緑の庭をうかがうことができる。しなれた洋風の家屋とともに南林間を代表する住宅景観となっている。

受賞時から敷地の建物は変化しているが、桜には珍しく緑色から黄色、ピンク色へと花色が変化する鬱金桜（うこんざくら）が見事な花を咲かせ、毎年道行く人の目を楽しませている。



# 南林間エリア

## ⑤高座みどり幼稚園



### 【受賞理由】

南林間駅西口から伸びた、放射線状のヴィスタ（道路の延長線）上に赤い屋根の園舎が配置され、シンボリックな景観づくりが林間都市のイメージを高めている。

現在は、認定こども園となり新園舎に建て替えられている。園舎が新しくなり、受賞当時とはまた違った魅力がある。

## ⑦通りのシンボル「時計台」と森の宿「ふくろう」（南林間一条ハイム）



### 【受賞理由】

建物のベントハウスに設けられた「時計台」は周辺地域のシンボルとなっている。また、建物の階段わきスペースに設置された「ふくろう」の彫刻も、その芸術性といまって、空間の魅力を高めている。

建物や外部スペースは、「街の顔」として地域に親しまれ、愛されるよう努めており、街並みづくりに貢献している。

## ⑥「快適なスペース」（南林間中央公園）



### 【受賞理由】

道路と連続する花壇、築山や松ぼっくり型の時計、遊具の形態や配置が工夫され、街かどを飾っている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

## ① 南林間むつみ公園



【受賞理由】  
ワークショップにより、ウォーキングコースや足  
つを押し石敷きなど、健康づくりを視野に入れ  
た仕掛けを持ち、従来型の遊具を持つお決まりの  
公園とは一線を画したユニークな施設となっている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

## ③ とうふ工房「豆畑」



【受賞理由】  
店先に自然素材を用いた広場を設け、幹線道路沿いの街  
並み全体に落ち着きを与えている。清潔感も感じられ、  
取り扱っている商品（豆腐）の品質イメージがよく表現  
されている。

日頃から掃除を行い、清潔感を保つ努力  
が続いている。

## ② グリーンアベニュー

【受賞理由】

元々自生していた樹木を巧みに生かし、地域に開  
放された遊歩道や前庭空間によって、ゆとりある  
集合住宅となっている。



豊かな樹木と洋風のゲートが魅力的な空間  
を創り出している。

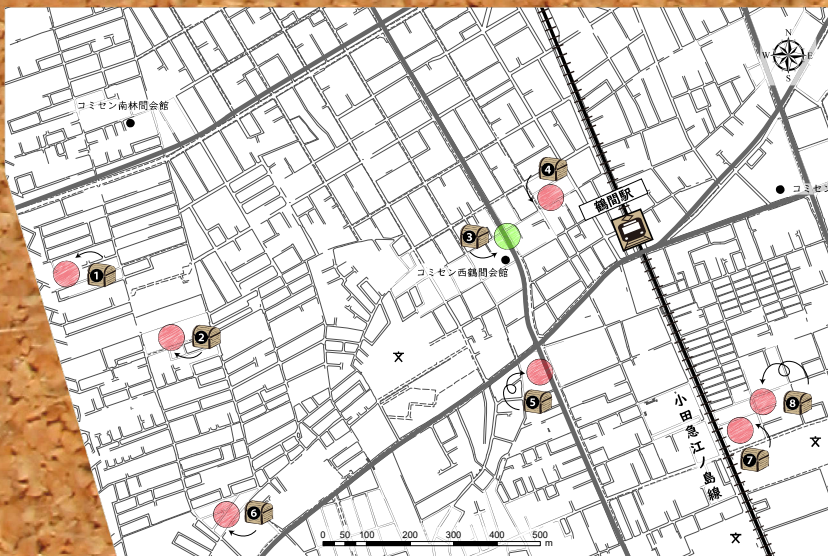
## ④ デイサービス ハッピー鶴間



【受賞理由】

小さな福祉施設でも街への小さな貢献ができており、こ  
れからの地域社会にますます増えていくであろう「福祉  
のある風景」の身になったモデルになる。す  
きりした外観が落ち着いた街並みにつながっており、  
アットホームな雰囲気が地域交流を生み出すなど、今後  
の街づくりの発展性を期待させる。

「オレンジカフェ@やまと」や「共創（介護職）カ  
フェ@やまと」などの会場、多数のボランティアの活  
動の場として、受賞後更に地域交流が盛んである。



# 鶴間エリア

## ⑤ 「西鶴間のモダンな空間」



【受賞理由】

シンプルな建物が、モダンなイメージを創出し、タペ  
ストリー（壁掛け）や、ライトアップによって街かど  
を演出している。

現在も維持されており、シンプルかつモダン  
なデザインだが、道路や歩道との調和も感じ  
させ、魅力的な街角となっている。

## ⑦ 市営鶴間台住宅



【受賞理由】

壁面緑化、太陽光発電等の環境負荷軽減への取組  
み、緑地・建物の配置等は集合住宅の模範的な計  
画と認められる。また、既存の樹木を残して、居住  
者にも評価できる。これから、住民の手により緑  
豊かな住宅環境に育っていくことを期待する。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

## ⑥ 「趣ある草花画廊」前田邸



【受賞理由】

通り沿いっばいに花や野草を配し、季節の移  
ろいを感じさせる演出と限られた空間を活かすた  
めの構や間仕切りの工夫が道行く人々を楽しませ  
ている。

季節感を意識した繊細な草花で彩られた、ま  
だに「草花画廊」。細かな部分にまで手入れ  
が行き届いたこだわりの空間となっている。

## ⑧ 大和市障害者自立支援センター



【受賞理由】

ローコストながら清潔感と明るさがあり、街との交  
流に配慮した開放的な設計が評価できる。U字溝など  
を活用したベンチなど道行く人も座りたくなるよう  
な楽しい工夫が見られる。今後、木々の成長とともに、  
人々の憩いの場として活用されることを期待する。

現在も維持されており、カフェでゆっくり過  
すこともできる。

## ①コートつきみ野の庭園及び公開空地



【受賞理由】  
南側に高木の多い庭園や提供公園を配置し、地域にも開放された緑の多い環境を形成している。管理が行き届いた庭園は、憩いの場として魅力溢れる空間であり、また大規模マンションの圧迫感を軽減する事例となっている。

現在も、受賞時の景観が維持されている。

## ②矢倉沢往還



【受賞理由】  
旧矢倉沢往還沿いは、市内で数少ない歴史的な風格ある街並みを形成している。宅地内の緑が豊かなゆとりある街並みで、大和らしさを伝える街並みとなっている。

現在、一部の建物が建て替わっているが、受賞時の街並みは残されている。一宅地の敷地面積が広く、古くからの家屋が並んでおり、歴史が香るゆとりある街並みとなっている。

## ③鶴林寺・長谷川邸



【受賞理由】  
旧矢倉沢往還沿いにたずむ寺院であり、隣接する長谷川邸とあわせ大和市内に残る数少ない歴史的空間を形成している。特に坂道に面した長谷川邸の倉、黒板塀と門、及び鶴林寺の斜面緑化は、魅力的な歴史を感じさせる景観となっている。

受賞時の景観が維持されており、落ち着いた寺院と隣接する歴史を感じさせる住宅により、荘厳な雰囲気となっている。

## ④金子邸「矢倉沢往還の風格ある門構え」



【受賞理由】  
重厚な瓦葺の門と石垣と板塀を組み合わせた、めずらしい瓦のせり出しの屋敷である。山石の石垣には石工の秀逸な技術がうかがえる。また、寒い朝まわりの庭の緑が通行人の風格を身に着ける。特に高生垣は非常に価値あるものだ。歴史を現代に伝える貴重な屋敷を代々引き継ぎ、今後も矢倉沢往還の歴史的街並みづくりへの貢献に期待する。

受賞時の景観が維持され、荘厳な門構えと豊かな緑は、歴史ある矢倉沢往還の街並みの重要なアクセントとなっている。

## ⑤大和山王幼稚園



【受賞理由】  
子供たちの記憶に残るような個性的なデザインで、やわらかく美しい園の雰囲気がよく出ている。敷地のコーナーにマスコットを配置していることで、車の運転者に注意を促す役目も果たしてくれている。

事故防止のため、点滅信号の設置や、園庭の見通しの確保など、周囲の安全のための努力が続いている。また、現在も新しいオブジェも飾られている。

## ⑥「矢倉沢往還沿いのゆとりある門構え」中村邸



【受賞理由】  
門前に迎みの松を植樹し風格ある門構えの景観を構成している。門を大きくセットバックさせ、歩道側にゆとりある空間を創出した点は、旧矢倉沢往還の狭い歩道空間に対する今後の街づくりのお手本となっている。

外構や庭木まで手入れが行き届いており、歴史を感じる風格ある景観を作り出している。

## ⑦T邸「矢倉沢往還の緑豊かな庭」



【受賞理由】  
歴史ある街並みの一角に緑豊かで開放的な庭をつくり出している。緑が多い矢倉沢往還の中でも、よく手入れされたツツの高生垣や日本の四季の移ろいを感じさせる植物を多く植えるなど、街に潤いを与える一角となっている。また漆喰の蔵など歴史を感じさせ、沿道景観の優れたアクセントになっている。今後も矢倉沢往還の歴史ある街並みづくりへの貢献を期待する。

手入れの行き届いた生命力を感じさせる庭は、年間通じて丁寧に手入れを続けてきた景観維持の努力の賜物。

## ⑧市川邸



【受賞理由】  
高低差をいかけて作られた庭が、歩いていて楽しい景観である。周辺には同じように緑豊かな落ち着いた歴史ある住宅が多く残っており、大事にした街並みである。

半年に一回程度、定期的なメンテナンスを行い、景観を維持しているとのこと。

## ⑨コンフォール鶴間ライク通りとリラの丘公園



【受賞理由】  
緑豊かな植栽が施され、快適な住環境が形成されている。特にワークショップ形式でつくられた「リラの丘公園」は防災機能を備えた公園として地域に親しまれている。

定期的な緑豊かな植栽の維持管理を行っている。リラの丘公園については、既に市に移管済み。



# 下鶴間エリア